議会だより さがら

2021.8.12 **48**

議会のうごき ……2
議長報告
こんなことが決まりました
一般質問 ……7
村のできごと ……14

6月定例会【 6月9日～11日 】

相良村世帯数【1,602 世帯】人口／ 4,198 人（男性 1,986 人）（女性 2,212 人） 令和３年７月 31 日現在
発行／相良村議会　　編集／相良村議会広報発行特別委員会　　熊本県球磨郡相良村深水 2500-1　TEL0966-35-1038（直通）

清流川辺川と大神橋（萩下）

議長報告

相良村議会議長
黒木　正照

県南部に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨から1年が過ぎました。

相良村においても確実に復旧は進んでいますが、未だ先の見えない不安な生活をされておられる村民の方も多くおられ、議会としても、執行部と共に復旧・復興に村民の皆様と同じ目線で今後も取り組んでまいります。

また先月 7月1日の議会全員協議会において、国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所人吉出張所長・中村氏より、要望を行っていた西村地区、瀬ノ上の堆積土砂4万㎥の撤去計画の説明もありました。さらに国・県に対し、すぐに出来る治水対策の要望を続けてまいります。

（主な行事）

5月1日　当選議員懇談会
5月11日　令和３年相良村議会第３回臨時会（初議会）
5月13日　5月定例郡議長会
5月14日　令和3年度相良村戦没者追悼式
5月26日　広報発行特別委員会
6月1日　熊本県町村議会議長会令和3年度臨時総会
6月1日　６月定例郡議長会
6月2日　議会運営委員会
6月2日　広報発行特別委員会
6月9～11日　令和3年相良村議会第4回定例会
6月22日　令和2年度県道相良人吉線改良貫通促進期成会の収支決算に係る監査
6月28日　被爆76周年核廃絶・平和行政に関する要請対応
7月1日　議会全員協議会
7月6日　令和3年度三期成会合同定期総会
7月6日　令和3年度川辺川ダム建設促進期成会定期総会
7月8日　7月定例郡議長会議
7月13日　核兵器禁止・非核平和要請行動（局長代理出席）
7月14日　令和3年度県道相良人吉線改良貫通促進期成会総会
7月20日　令和3年度町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会
7月27日　広報発行特別委員会

主な行事の中で、令和3年度三期成会合同定期総会について報告します。

7月6日に、一般国道熊本宮崎線道路整備促進期成会、一般国道445号道路整備促進期成会、球磨川上中流改修期成会の合同で定期総会が行われました。

1．会長挨拶
2．来賓挨拶
3．議事
(1) 一般国道熊本宮崎線道路整備促進期成会
熊本県南広域本部土木部・球磨地域振興局土木部より説明
(2) 一般国道445号道路整備促進期成会
県南広域本部土木部・宇城地域振興局土木部・球磨地域振興局土木部より説明
令和３年度相良村関係道路改良計画は以下の５箇所です。
六藤＝側溝整備　200万　　荒瀬谷橋＝橋梁補修　3,100万　　四浦＝舗装補修　700万
藤田トンネル＝本体補修　400万　藤田橋＝橋梁補修　2,997万
(3) 球磨川上中流改修期成会
国土交通省八代河川事務所長より説明

議事について各事務局の説明により、令和2年度事業報告･決算並びに会計監査報告、令和3年度事業計画案･収支予算案及び役員改選について審議を行い全て承認されました。

各期成会の目的

▶一般国道熊本宮崎線道路整備促進期成会
一般国道熊本宮崎線のうち、八代市萩原橋交差点より人吉を経て湯前町（県境）に至る当該路線区間の道路整備の促進を図り、もって早期完成を期すること。

▶一般国道445号道路整備促進期成会
一般国道445号（区間人吉から砥用まで）の道路整備促進を図り、もって地域の交通、産業振興及び総合的発展を期すること。

▶球磨川上中流改修期成会
直轄河川球磨川上中流改修の早期完工達成を目的とし、併せて、各関係市町村の目的達成のため相互研究及び協力を図る。

こんな事が決まりました

令和3年第4回相良村議会定例会報告

令和３年第４回相良村議会定例会が、６月９日から11日まで、３日間の会期で開催され、報告２件、承認１件、条例の一部改正１件、令和３年度一般会計及び特別会計の補正予算３件、その他議案１件が提案されました。慎重審議の結果、下記のとおり議決しました。

一般質問には８人が登壇し、村長・執行部の考えを質しました。

○一般会計補正予算・・・原案可決

議案第36号　令和３年度相良村一般会計補正予算（第５号）

歳入歳出それぞれに1億8,673万5千円を減額し、総額48億5,931万1千円とする補正で、採決の結果、全員賛成で可決しました。補正の主なものは次のページのとおりとなりました。

○報告

報告第１号　令和２年度相良村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

報告第２号　令和２年度相良村簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

○承認案・・・原案承認

承認第９号　令和３年度相良村一般会計補正予算（第４号）

［道路災害復旧測量設計業務委託（村道牛駄場山手線）の増額補正　450万円］

○条例議案・・・原案可決

議案第35号　相良村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

（主な改正点　書面の作成を電磁的記録により行うことができる）

○特別会計補正予算・・・・原案可決

議案第37号　令和３年度相良村簡易水道特別会計補正予算（第１号）

議案第38号　令和３年度相良村農業集落排水特別会計補正予算（第１号）

○その他議案・・・原案可決

議案第39号　相良村有林野部分林の売却について

歳入

款	補正前の額	補正額	計	説明
国庫支出金	13億3,415万7千円	3億527万9千円	16億3,943万6千円	公共土木施設災害復旧費負担金等
県支出金	2億5,336万6千円	139万3千円	2億5,475万9千円	森林環境保全整備事業補助金等
繰入金	3億5,405万4千円	710万6千円	3億6,116万円	財政調整基金
諸収入	2,358万円	85万7千円	2,443万7千円	村有林立木伐採補償等
村債	4億7,050万円	△1億2,790万円	3億4,260万円	公共土木施設災害復旧事業等
歳入合計	46億7,258万6千円	1億8,673万5千円	48億5,932万1千円	

歳出

款	補正前の額	補正額	計	説明
議会費	5,864万7千円	2万5千円	5,867万2千円	共済費
総務費	6億8,966万5千円	102万6千円	6億9,069万1千円	くま川鉄道経営安定化補助金（災害復旧事業分）等
民生費	8億5,872万5千円	1,149万5千円	8億7,022万円	低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業等
衛生費	3億2,107万2千円	46万7千円	3億2,153万9千円	簡易水道特別会計操出金等
農業水産業費	4億313万円	1,123万7千円	4億1,436万7千円	基本財産増資事業等
商工費	2,870万7千円	2,357万7千円	5,228万4千円	新型コロナウイルス消費支援商品券交付事業等
土木費	5億5,087万3千円	764万5千円	5億5,851万8千円	村道維持補修等
消防費	1億6,412万3千円	295万3千円	1億6,707万6千円	避難所用ポータブル蓄電池等
教育費	3億133万2千円	10万2千円	3億143万4千円	共済費等
災害復旧費	9億5,266万5千円	1億2,820万8千円	10億8,087万3千円	橋梁災害復旧工事等
歳出合計	46億7,258万6千円	1億8,673万5千円	48億5,932万1千円	

※補正のあったものだけを掲載しているため、歳入歳出が合計の数字とは一致しません。

各議員の審議結果

第4回定例会

※賛成が○　反対が●　欠席は－
※議長は表決に加わらない。

件名		川邊	坂田	永田	徳田	中村	西本	髙岡	小善	市岡	結果
承認第９号	令和３年度相良村一般会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第35号	相良村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	令和３年度相良村一般会計補正予算（第５号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	令和３年度相良村簡易水道特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	令和３年度相良村農業集落排水特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第39号	相良村有林野部分林の売却について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和３年第４回６月定例会のようす

相良村議会　９月定例会のお知らせ

９月定例会は、９月中旬の開催予定です。

インターネット録画映像（翌々日から見られます）

相良村議会では、インターネット上において、議会ライブ中継と映像の録画配信を実施しています。

本会議日の（※）翌々日17時より休憩分のみをカットしたものを録画配信いたします。

併せて、平成23年以降の定例会並びに臨時会の記録もご覧いただけますので、ぜひ、そちらもご利用下さい。

（※本会議日が金曜日の場合は、翌営業日の17時となります。）

相良村ホームページ　https://www.vill.sagara.lg.jp/　からお入り下さい。

相良村公式ウェブサイト　＞　くらしと行政　＞　議会中継システム

詳細につきましては、議会事務局までお尋ね下さい。（直通３５－１０３８）

ここが聞きたい 一般質問

一般質問とは

議員が村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。
8名の議員が登壇した。

●髙岡　重盛 議員 …… 7ページ
☆災害復旧について

●永田　博人 議員 …… 8ページ
☆今後の村政運営について
☆令和２年７月の豪雨災害により被災した水路及び揚水機場の工事の進捗状況について
☆高原台地について

●市岡　智恵 議員 …… 9ページ
☆災害における復旧・復興計画について
☆コミュニティーセンター及び公民館等の設置について
☆さがらっぱ号の活用は
　国道４４５号改良工事及び村道の管理について

●川邊　一徳 議員 …… 10ページ
☆新型コロナウイルスワクチン接種について
☆消防団の設備について

●小善　満子 議員 …… 11ページ
☆株式会社さがらの経営状況について
☆地域おこし協力隊募集について
☆相良村復興計画の基本理念について

●西本　巳喜男 議員 …… 12ページ
☆農地の災害復旧について
☆掛け切りについて

●坂田　朋美 議員 …… 13ページ
☆村民の安心安全について

●徳田　正臣 議員
令和２年７月豪雨災害について
新型コロナウイルス感染症について
茶湯里について

☆の質問を掲載しています。

髙岡　重盛 議員

Q 農地災害復旧の完了予定は
A 令和3年度の予定である一部が次年度で

髙岡議員　棚葉瀬揚水機場の完了、飛行場水路においても水中ポンプによる送水が行われ並木野、井沢地区では水稲作付の準備も行われている。特に被害が大きい川辺、永江、深水、柳瀬地区全体を見ると部分改良は見られるが、依然として手付かずのままである。このような状況がいつまで続くのか。

産業振興課長　棚葉瀬揚水機場は6月1日から通水。柳瀬西溝はボックスカルバート工事は据付をほぼ完了しているが、下流250ｍの堆積土砂の撤去をしており7月中に完了予定である。また、飛行場用水路も応急でポンプアップで送水しているが、土砂堆積撤去工事が難航していることから8月中の完了を目指している。農地については、柳瀬地区は発注済み、川辺地区は松馬場、萩原、上園、雨宮が用水路、排水路工事が発注済みである。殆どの箇所が来年3月完了予定であるが、下鶴、下黒石は被害が大きいので令和5年3月の完了を目指している。

髙岡議員　農家は一日も早い復旧を望まれているが、現在まで入札を行い工事がどれだけ行われているのか。

産業振興課長　40箇所、18工区の内10箇所発注済みで25％の進捗である。

髙岡議員　農家は農地の復旧が進まないと今後の作付や営農に影響が出てくる。一日でも早く復旧するために村長の力をお借りしたい。

村長　農地災害復旧事業は110ヘクタールでほとんどが来年まで。下鶴、下黒石については2年くらい掛かると考えている。農地、道路等は県、国事業もある。業者も多方面で工事をしている関係で農地を落札できるのか心配もしている。

　また、落札後に色んなことが出てくる恐れがあるので、業者としては、他の事業が無い時には仕方がないが出来る事なら農地災害復旧には手を出したくないと言うのが本音のようだが、業者が復旧をしてもらわないと前に進まない。個人で復旧される場合とは規模が違うので、もう一回色々と検討をして来年の作付けに間に合うようにしたい。

Q 村道、林道災害復旧の完了予定は
A 令和3年度から令和5年度で

髙岡議員　令和2年度災害発生の村道牛駄馬山手線、山手夜狩尾線、野原椎葉線、中尾線、新深水線の5路線と新深水橋のほか、新村橋等の繰越事業も多い中に計画どおり完了は出来るのか。

建設課長　おおむね計画どおり進捗している。村道が10路線の22箇所、橋梁が2橋、着工済みが村道10箇所である。内訳は、山手夜狩尾線、小柏線、牛駄馬山手線、野原椎葉線、永江瀬馳線、大曲線、初神野原線、残りの13箇所は、今年度着工予定である。新村橋は令和5年度完了予定である。

　また、林道相良五木線については、壊滅的な状況であることから現地の調査及び査定もドローン等を使用して簡易的査定を受けている段階である。林道相良五木線も時間が掛かると思うが、令和5年度完了を目指して進めて行きたい。

村道牛駄馬山手線被災状況

永田　博人 議員

Q 今後の村政運営について
A 村有の、固定の家賃で住むことができる住宅を増やし、町村合併も町村会へと話を伝えていく

永田議員　最初にお尋ねしたいのは、少子高齢化社会を迎え、私も限界集落になるのではないかというふうな危惧をもっている。

　総務課長に、村営住宅の入居状況、教育課長に今年度児童の入学数をそれぞれ尋ねる。

総務課長　村営住宅73戸で入居数68戸である。

教育課長　令和3年度入学者、南小23名、北小1名、令和4年度の見込みが、南小24名、北小2名となっている。

永田議員　村も自主財源は1割程度で地方交付税頼りの運営を強いられており、高齢者が中心となった集落では、子育て世代や中年以下の転入が存在しない状況にある。このようなことから村営住宅を増やして人口を増やす手立てはないか。

村長　相良村の高齢化率は42・3％、山江村は34・96％。10年前は、山江との人口差は1200人、現在は900人の差となり、山江村は村営住宅も分譲地も造られ、今に至っている。相良村は10年間そういう政策がされておらず、一度にはできないが増やしていきたい。

永田議員　人吉市という立地条件を加味して、利用しやすい村営住宅を造っていただくようお願いしたい。

　村長も、村職員の頃、合併の協議会に行かれていた。だんだん過疎化していく村を維持するのは無理と思う。そのことから積極的に進めて頂きたい。

村長　議員質問のとおり、私も職員のとき、出向していた。もう少しで合併という段階でキャンセルになり解散したが、合併の要因は、首長同士、議員の信頼関係が一番。貴重な意見なのでそのような話があるという事を伝えていく。

Q R2年7月の豪雨災害により被災した水路及び揚水機場の工事の進捗状況について
A 水は今年度作は、足りている

永田議員　今回の災害復旧では、村が率先していただき、水は足りているという事ですが、維持管理費について棚葉瀬揚水機場掛りは、10アールあたり1万7000円がかかる。補助は考えてないか。

村長　吉松は補助しないと言う話があったが、180万の補助をしている。

永田議員　飛行場水路は100年も経っている。災害が10年に一回程度起きている。今後農家が管理しやすいように水路の改修など、国、県に要望してはいかがか。

村長　そのように要望していかなければならないと思う。

Q 高原台地についての計画は
A 県営事業で計画がある

永田議員　高原台地、500ヘクタールの畑地帯で、道路排水路の計画はないか。

村長　県営事業で排水路を一の迫から実、第2のふるさと農道を防風林近くへ少しずつ計画を進めていきたいと考えている。

永田議員　この畑地帯の整備をすれば村の活性化につながる。是非宜しくお願いしたい。

市岡　智恵 議員

Q 災害の復旧・復興計画について
A 計画に盛り込む予定

市岡議員　復興住宅等の計画について、また安心安全な住まいの確保のための代替地整備等の計画について。

村長　災害復興住宅は、被災者の希望がないと建設できないので、支え合いセンターの支援員が当たっており、自宅を再建、新築が7世帯、中古住宅の購入が5世帯、自宅の修理が1世帯、民間の賃貸を借りたいが2世帯、災害公営住宅を希望が12世帯、未定が3世帯。小学校横の仮設住宅は一部改装して村有住宅にしたい。県の方にも言っているので県も了解している。村有住宅にする場合アコーディオンカーテンを襖あるいはドアにするか、トイレの所を少し改築しなければならない。運動公園の駐車場の仮設住宅は、何処かに移転しなければならない。移転する場合、移転費が高いと困るので精査する。8世帯あるので2世帯分を合体し、8世帯を4世帯にすれば世帯の多い人は住まれるのではないかと検討している。分譲については現在、候補地に村有地として出来ればそこに移転を考えている。

市岡議員　今後、村としての復旧・復興へ向けての準備とあるが、具体的な事業等は。

総務課長　住民の方の考え又は要望が日々変わっている。例えば避難所が必要になったり避難する道を広くしたり、いろんな住民の方からの要望がある。要望を聞きながら、具体的に今年の計画に盛り込む予定。6月20日に4地区の住民懇談会も予定している。

Q コミュニティセンター及び公民館等の設置について
A 地区からの希望が出てくれば考えていきたい

市岡議員　本村の所有する物、地区が所有する公民館の件数、また公民館や集会施設等が設置されていない地域があるのか。

教育課長　社会教育法に基づいた公民館は総合体育館1施設、村が管理する施設は11施設、行政区・地区で管理されている自治公民館及び集会施設は29施設、村の施設を含め18行政区で施設がない所はない。各行政区1施設から4施設ある所もある。

市岡議員　今後、本村として公民館活用をどのような計画をされているのか。

総務課長　村の方で避難指示、又は高齢者避難等を行うが、避難所を総合体育館、林業センターに設けているが安全な場所に避難してくださいという呼びかけもやっている。地域の公民館であれば、避難所として活用していただくということは可能と思っている。

Q さがらっぱ号の活用は
A 路線バスについては半額で乗れる制度もある

市岡議員　高齢者・障害のある方を対象にして、予約型乗り合いタクシーの運行を始められているが、現在の登録者数、また利用者数は。

総務課長　令和元年10月から運行開始している。令和3年5月31日現在の登録者数76名、令和2年度の利用実績は延べ386人、実際に利用されている方76名のうち28名の方が利用されている。今年に入り新規に利用されている方もいる。

市岡議員　高齢者の免許証返還された方の外出手段として、本村としての交通機関の考えはないか。

総務課長　免許証返納された方に対しての優遇措置は現在のところない。区域内の移動については、片道100円、区域外、隣のエリアに移動する場合片道300円から600円という金額の設定をしている。路線バスについては免許返納の証明書が警察署で出されると思う。バス会社のほうに申請すると半額で乗れる制度もある。

その他の質問

Q 国道445号改良工事及び村道の管理について
A 継続して引き続き要望していく

川邊　一徳 議員

Q 新型コロナウイルスワクチン接種のスケジュールについて

A 6月9日現在65歳以上で接種済者が1回目1200名、2回目295名、7月末には完了予定 64歳以下は6月中旬から意向調査等を実施し7月中旬以降から随時接種予定

川邊議員 村内において、65歳以上の方の接種が5月11日から始められたと思うが、完了見込み及び現在の進捗状況は。また65歳未満の方の接種はいつ頃からの予定か。接種の希望調査方法は65歳以上の方と同じ方法で実施されるのか。

保健福祉課長 65歳以上の接種は7月末には完了する予定である。進捗状況については、6月9日現在1回目の接種をされた方が1200名。この中には、医療従事者や介護保険施設等の方も含み全村民の28・5%が接種済みである。また2回目の接種が終わられている方は295名（医療従事者等含む）となっている。64歳以下の方の接種については、人吉市や下球磨の町村等や人吉医師会と協議をし基本的には65歳以上の方と同じ方法で個別接種となる。また意向調査等については、6月中旬以降で、まずは60歳から64歳までの方を対象に調査をし、接種券と予診票を送付する予定である。その後は、10歳刻みで意向調査を実施予定である。ワクチンが7月中旬に1箱来る予定なので、接種自体は7月中旬以降には出来るかと考えている。

川邊議員 今後速やかに実施されるよう期待いたします。

Q 消防団設備について、積載車の更新基準及び災害時の新たな連絡手段は

A 積載車については、更新に必要な基準を設定していく 無線機については、現在のIP無線システムに代わる物は考えていないが、アマチュア無線の団体等で協力して貰えないか考えている

川邊議員 予算計上してある積載車の規格及び配備はどの分団か。買い替えの基準や規格はどのように決められているか。

総務課長 第3分団1部の車両で、軽自動車のオートマチックタイプの車両である。また、現在2種類の積載車が村内に導入されているが、以前は全分団に導入されておらず、全分団に順次計画的に導入した。この際に予算と道路条件等から買い替えの際には軽自動車タイプで決めようかと考えている。ただ、小型ポンプについては導入から20年で更新と基準を設けているが積載車については走行距離も伸びないので現在基準は定めていない。不具合等もあると聞いているので更新に必要な基準も必要かと考えている。

川邊議員 規格等については対象分団と協議をして災害時に最も活用できる車両選定を。また、老朽化により災害時に支障をきたす恐れもあるので計画的な買い替えを実施して頂きたい。

積載車

川邊議員 現在配備してあるIP無線機は、昨年の災害時に繋がらない状況だった。そこで今後の対策として特小無線機等の導入計画はないか。

総務課長 現在消防団にIP無線システムを導入しており、これについては、人吉下球磨消防組合と構成市町村で同じものを導入し各市町村間で連携して活用できる物である。昨年の災害時は通話が出来ないようなことも発生したと承知している。現在それに代わる通話手段はまだ考えていないが、庁内会議で例えばアマチュア無線等を活用できないかという話が出たところだが、これを村が先導してしまうと色んな費用も発生するので、そういったアマチュア無線で行ってもらえる団体等があれば、情報通信手段の一翼を担ってもらえないか考えているところである。

川邊議員 いつ起こるか分らないのが災害である。夜間の災害も想定されるので消防団活動が安全に、的確に行えるよう設備の計画的な導入をするべきだと思う。

小善　満子 議員

Q 茶湯里温泉を利用する一人としてこの様な張り紙は村長の指示によるものか

A 支配人と従業員で協議したものであって、村長の指示によるものでない

小善議員 利用者が不愉快になるような張り紙がありました。「最近お客様同士の口論、従業員への暴言及び誹謗中傷が見受けられる場合がございます。また他のお客様のご迷惑となりますので、お見かけになられた場合は、お近くの従業員へお知らせいただければ幸いでございます。相良温泉茶湯里」この件について村長が指示されたのか。

村長 毎日の茶湯里のご利用ありがとうございます。ご質問の件につきまして、私はクレームがあるとか、あるいはそういう話は聞いておりますが、張り紙については分りませんでした。不行届きで大変申し訳ございません。

Q 相良温泉茶湯里の利用者フリーパスの3月4月昨年と比較した場合

A 3月がマイナス83人、4月がマイナス82人と聞いている

小善議員 さがら温泉茶湯里の経営状態について、運営管理方法に変化がありまして温泉のお客様も、相当減っております。このままでは経営が難しくなるのではと心配しております。昨年と比較した3月、4月分についてどのようになっているか。コロナ関係で休館等あった関係で温泉の利用客も昨年と単純比較できないが、温泉をフリーパスで利用されている方については変化が少ないと考えられる。

産業振興課長 温泉フリーパス会員3月につきまして単月でいきますと、282人が199人、マイナス83人、4月分単月で274人が192人、マイナス82人というふうに聞いております。

小善議員 確かにお客さんがずっと減りまして、フリーパスが82人も減ったということは茶湯里にとっては大打撃と思います。（年間418万2000円の収入減になる。）地域の生産者の野菜の持ち込みも少なくなった感じがします。茶湯里を利用されるお客さんは、新鮮で安い価格に魅力を感じて購入されるお客さんばかりです。野菜類については、生産者からの仕入れ分と業者からの仕入れ分はどんなになっているのでしょうか。

産業振興課長 年間、業者から仕入れる金額は、約4600万円。そのうち村内の業者や生産者からの分が2000万円になっております。

Q 地域おこし協力隊の募集の経緯について

A 募集については、募集をかけていない

小善議員 地域おこし協力隊の募集については、昨年は予算計上してありましたがコロナ関係で募集が困難であり募集されなかったようですが、今年度については予算通り募集されたと思いますがその経緯についてお尋ねします。

総務課長 募集については、まだ募集をかけてございません。当初、茶湯里の活性化に向けて地域おこし協力隊の方を活用できないかと対応していたところですが、支配人も交代されまして、なかなか茶湯里のほうでは対応が難しいということでございましたので、現在、相良村で進めております復興村づくり、この中で行います魅力創造事業、具体的には川とか自然を楽しむ体験型、鮎ヤナとかキャンプ場を、今、考えております。また魅力発信関係で情報発信又はお土産品の販売、情報発信、こういった関係の取り組みで地域おこし協力隊のほうが活動また募集が出来ないかというところで、課内で検討、協議しているところでございます。

Q 復興計画基本理念の中の生活再建に向けたきめ細やかな支援とはどんなことか

A 村、国、県の支援情報を伝え、的確な判断が出来るよう被災者と話し合う

小善議員 生活再建に向けたきめ細やかなというようなことはどんなことをされるのか。

総務課長 被災者の方の生活再建に向けたきめ細やかな対応というところですが、どんな考えをおもちなのか、しっかり行政として把握する必要がありますので個別相談会で考えを聴き、具体的に事業に結びつけていく事になるでしょう。住まいの再建方法については、国、県が作っているものですが、被災住宅を修理する再建、住宅を購入又は建設する再建、家を借りるための再建、また公営住宅に入る等、それぞれ支援方法の内容が違っております。そういった情報をお伝えして的確な判断をしていただくことが必要なことかと考えております。

西本巳喜男 議員

Q 農地の災害復旧については今後どのような計画になっているのか

A 2年度復旧を目指している

西本議員 用排水路の災害復旧については、業者が落札したと聞く。担当課におかれては当面の間、多面的機能支出交付金事業を利用して地元農家で対処していただきたいとの弁であったが、業者の現地着手はいつ頃からか。

産業振興課長 用排水路の業者の着手時期については、柳瀬の1箇所は終わったと聞いている。他の箇所は、今から随時入っていく。川辺は、今から除草しながら随時着工、着手していく。柳瀬の農地については、8月くらいを目途に発注できないかというところで進めている。

西本議員 農地の復旧について、今後はどのような計画になっているのか。復旧が、4年の3月で完了を予定している。遅くとも、残りを5年の3月末までには完了するということで答弁された。はたして可能であるか。一番下流の農地の六反田、二反田、あそこはもう凄い引っ込みかたで、土砂が流出し基盤までやられている。そこも含めたところで、5年の3月まで完了するような計画か確認したい。

産業振興課長 六反田の辺りについては、酷い所に入ると思う。2年後復旧を目指してはいる。ただ、やはりずれ込む可能性も十分あるということは頭に入れておいていただきたい。

Q 掛け切りについて。住民より「住宅の上の方の木々が覆いかぶさっている。毎日が不安である。」とのこと 村として何らかの対応、方策はないか

A 地権者とお住いの方との協議が一番大事ではないかと考える 村が中に入ることはなかなか難しい

西本議員 住民に聞くなり、所有者に聞いてもらうなり、間に入って折衝していただいて、予算は当然当分はできないと思うので、何らかの形の働きかけや、何か村の方でうまい具合に折衝が出来ないものか。

村長 実行されるのはやはり地権者と住民の関係であるから、村のタッチはなかなか難しい。いろんな関係でそれが障害になって、いろんなことがあれば、また違う行政相談等の方法を。やはり地権者とお住いの方との協議が一番大事。村が中に入ることはなかなか難しい。村道に影響があって、それが枯れ落ちてくる場合は、村の方で対処するが、民民の間で民間の所からあんまり支障がない分については、そういう規定がない。あとは集落でされる場合は、がんばる地域応援補助金ということで地区にやっている。それを利用する方法もある。ただ村直営では出来ないので、そこは了承していただきたい。

坂田　朋美 議員

Q 国道445号の広瀬地区の道路嵩上げについて

A 県に再三要望しており、今後も継続して要望する

坂田議員 村民の安全対策として、国道445号、広瀬地区の道路の嵩上げについて。昨年の豪雨時、広瀬地区の一部が大雨のために川辺川の水位が上がり国道が冠水して、複数の近くの民家が床上浸水になった。また国道も一時的ではあるが通行止めになった経緯がある。現場としましては過去にも、度々冠水する場所なので、国道の嵩上げを要望したい。現在の状況は。

建設課長 国道445号、広瀬地区の前の国道の冠水区間については、常襲的に梅雨時期等で冠水する区間となっている。ここについては再三、県のほうに要望はしているが、特に昨年の7月豪雨災害後、例年、避難路・う回路となっている村道永江瀬馳線についても被災しているので、当該区間が冠水すると完全な通行不能となる。しかも孤立集落が出てくる可能性もあるということで、今年に入ってからも県にも立ち会ってもらい、現地の確認のほうもお願いしているところである。今後も継続して要望はしていきたいと考えている。

坂田議員 冠水すると、平川、上下坂の住民が避難先である林業センターの方へ移動できなくなるし、永江瀬馳線が一部通行止めになっているので、相良村民を始め五木村民も陸の孤島となる場合があり、不便を強いられることになる。今年も梅雨入りが早めになり、直後に大雨が降って川辺川の水嵩が上がり大変不安な時があった。今後も梅雨明けまでには大雨になる可能性があるので、昨年の豪雨災害を踏まえて、我々議員も一緒になり、より強く要望していきたいと思っている。

令和2年7月豪雨災害時の国道445号（広瀬地区）

冠水状況

被災状況

村のできごと

避難訓練懇談会（6月20日）
復興むらづくり避難訓練懇談会

全員協議会（7月1日）
国土交通省八代河川事務所人吉出張所所長の説明

連合審査会（6月9日）
令和3年第4回6月定例会

水質15年連続日本一
川辺川の26㎝鮎（晴山広瀬地区）

新築された川辺厳島神社拝殿

十島神社　竹あかり（災害復興を願って）

編集後記

昨年7月の豪雨災害から早くも1年2ヶ月が過ぎました。災害復旧工事も着々と進行しております。国・県に要望をして河川の砂利の撤去も進んでおります。今年も梅雨入りで初めに大雨の状況も心配しましたが、早速効果が現れたのではないかと考えております。今後被災された方々の一日も早い生活再建に向けて執行部と共に状況を見極めながら取り組んで参ります。

今年も梅雨末期の大雨により全国的に被害が出ております。気象情報の収集や防災無線から、近所の呼び掛けを参考にして早めの避難を心掛けて頂きますようお誘いして参ります。

また、新型コロナウィルスワクチン接種も高齢者の方から始まりました。拡散防止のためにも早めの予防接種にご協力下さい。

雨天後に天気が急回復して、体がまだ気温差に慣れてないことや蒸し暑さの為体調を崩しやすくなりますので、体調管理にはくれぐれもご留意いただきお過ごし下さい。

【広報発行特別委員会】
委員長　市岡　智恵
副委員長　坂田　朋美
委員　髙岡　重盛
中村　重道
小善　満子
発行責任者　黒木　正照